

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	11	観光施設整備に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	65,546千円	31,482千円	47,517千円	0千円
	総人件費	7,204千円	5,835千円	12,051千円	
	総事業コスト	72,750千円	37,317千円	59,568千円	

事務事業名	01	筑波山梅林及びその周辺整備事業			指標名	筑波山観光客入込数				指標種別	成果指標	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、観光入込客をカウントした値(年集計)						
戦略プラン	IV	12	1	観光の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度					
	-	-	-	-	実績	209万人	196万人	221万人	225万人	-									
総合戦略	III	2	1	観光の振興	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	市営筑波山駐車場の利用台数 H28年度実績値(目標値) ・普通車:84,850台(80,000台), 大型車:1,094台(1300台) H29年度実績値(目標値) ・普通車:84,914台(82,000台) ・大型車:1,123台(2,000台) H30年度目標値 ・普通車:86,600台 ・大型車:1,100台				
	-	-	-	-		改善目標	H29年度				H30年度								
	-	-	-	-			改善目標	H29年度				H30年度							
市長公約	No.81				事業計画	①筑波山梅林見返り縁台整備工事 ・展望デッキ再整備 ②筑波山ウェブカメラ整備工事 ・筑波山御幸ヶ原・筑波山梅林等へウェブカメラ整備 ③つつじヶ丘駐車場満空表示設置工事 ・市営駐車場満空表示への増設工事 ④梅林内案内看板設置工事 ・梅林内への案内看板整備				①梅林整備 ・四阿屋根葺き替え ・菱露台再整備 ②山頂水道漏水対策 ・漏水対策緊急工事設計を行い、工事を施工する。 ・漏水対策調査を実施し、適正な改修方法を検討する。 ③森林体験パーク整備 ・子供向けコース等整備設計				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
個別計画	・筑波山梅林及び周辺整備計画(H21年度)※H25年12月一部変更 ・第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)					活動実績	①筑波山見返り縁台整備事業 ・展望デッキ再整備 ②筑波山ウェブカメラ整備工事 ・筑波山御幸ヶ原 1台, 女体山 1台, 梅林 2台, 市営第一駐車場 1台 ③つつじヶ丘駐車場満空表示設置工事 ・市営駐車場満空表示へ増設 ④梅林施設 ・おもてなし館木製デッキ整備				-				事業費(A)	59,602千円	23,361千円	40,551千円	0千円
根拠法令等	茨城県自然環境整備交付金事業交付要項						成果	見返り縁台の再整備により、筑波山梅林中腹からの景観を来訪者に提供することができた。また、ウェブカメラの整備により、山頂等からの景色や中腹の交通状況を24時間配信することができた。さらに、つつじヶ丘駐車場の満空状況を市営駐車場満空表示板に増設することで、来訪者に渋滞情報の提供ができた。				-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事業				課題			筑波山山頂の観光施設では湧水を飲料水等に利用しているが、東日本大震災以来水量が減少しており、安定供給を行うため、漏水対策が必要である。				-				県支出金	20,975千円	0千円	0千円
執行体制	補助金(間接)					課題		事業の進捗状況				事業の進捗状況				地方債	26,700千円	5,740千円	0千円
事業の目的	筑波山梅林及びその周辺を一体的に活用した整備をすることで、新たな通年型観光拠点とし、更なる筑波山観光の利便性と魅力を向上し、周辺観光産業の活性化を図るため。また、通年で新たな世代の客層とリピーターを獲得することで、筑波山観光の閑散期の解消に寄与するため。						成果	-				-				その他特財	1,300千円	746千円	1,116千円
	事業の概要	筑波山旧がま園跡地及び周辺の市有地を有効活用するため、一部に環境省交付金を活用して、関連施設の整備を行う。						課題	-				-				一般財源	10,627千円	16,875千円
ISO 14001		H29環境関連性	-			評価	有効性		中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			人件費(B)	4,794千円	3,399千円
	H30環境関連性	-			効率性		中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-			正職員	従事割合	0.60人	0.40人	1.20人	
					評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価	総合評価	-			時間外勤務	150.00時間	220.00時間	400.00時間	
						評価					評価				臨時職員等	無	無	-	
													事業コスト(A+B)	64,396千円	26,760千円	50,090千円			
													H31年度当初積算根拠	-					
													H31年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	65,546千円	31,482千円	47,517千円	0千円
	総人件費	7,204千円	5,835千円	12,051千円	
	総事業コスト	72,750千円	37,317千円	59,568千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	11	観光施設整備に要する経費

事務事業名	02 筑波山麓整備事業				指標名	観光客入込数				指標種別	成果指標				指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、観光入込客をカウントした値(年集計) ※目標値は、第2次つくば市観光基本計画「目標指標」							
	戦略プラン	IV	12	1	観光の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度										
		-	-	-	-	実績	400万人	400万人	339万人	376万人	382万人	388万人	394万人										
総合戦略	III	2	1	観光の振興	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-								
市長公約	No.81				事業計画	山口コース用地測量：2.5Km ・国有林内のコース用地確定 ・民有地のコース用地確定及び調整				小田城コース用地測量：2.2Km ・国有林内のコース用地確定				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初					
個別計画	・筑波山周辺観光整備基本構想(平成18年度策定) ・第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)					活動実績	山口コース用地測量：2.5Km ・国有林内のコース用地測量 ・民有地内のコース用地測量				上半期活動実績	事業費(A)				5,944千円	8,121千円	6,966千円	0千円				
根拠法令等	-						成果	登山コースを確定することで、コース外への立ち入りの規制・除草などの適正な管理が可能となった。				上半期成果	国庫支出金				0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類	A 任意的事業				課題	良好な登山道を整備するため、宝篋山登山コース(全6コース)の確定が必要である。				課題	県支出金				0千円	0千円	0千円	0千円					
執行体制	一部委託					事業の進捗状況		達成					改善目標の進捗状況	達成				地方債				0千円	0千円
事業の目的	筑波山麓の豊かな自然と歴史的な文化資源を活用して、山麓地域の活性化を図るとともに、駐車場や公衆便所等の利便施設を整備する。また、筑波山～山麓地域までの回遊性を高め、筑波山地域を一体的に整備することで、行楽シーズンに集中する筑波山観光への分散を図るため。				事業の概要		有効性				中：適切な成果が得られている				その他特財				0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	観光誘導及び地域活性化に寄与するため、自然景観に配慮した利便施設を整備する。 ・観光案内看板の設置						評価	効率性				中：適切な費用対効果が得られている				一般財源				5,944千円	8,121千円	6,966千円	0千円
ISO 14001	H29環境関連性	-				H31年度当初積算根拠		総合評価				B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				人件費(B)				2,410千円	2,436千円	2,512千円	
	H30環境関連性	-			H31年度の方向性			理由				-				正職員				従事割合	0.30人	0.30人	0.30人
															時間外勤務				80.00時間	120.00時間	150.00時間		
														臨時職員等				無	無	-			
													事業コスト(A+B)				8,354千円	10,557千円	9,478千円				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	12	観光施設維持管理に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	117,476千円	130,650千円	112,858千円	0千円
	総人件費	16,865千円	17,598千円	12,177千円	
	総事業コスト	134,341千円	148,248千円	125,035千円	

事務事業名	01 観光施設維持管理事業				指標名	観光客入込数 <th>指標種別</th> <td colspan="4">成果指標</td> <th rowspan="3">指標の概要</th> <td colspan="5" rowspan="3">観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、観光入込客をカウントした値(年集計) ※目標値は、第2次つくば市観光基本計画「目標指標」</td>				指標種別	成果指標				指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、観光入込客をカウントした値(年集計) ※目標値は、第2次つくば市観光基本計画「目標指標」									
	戦略プラン	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	400万人	400万人							339万人	376万人	382万人	388万人	394万人
		-	-	-	実績	342万人	332万人	370万人	384万人	-															
総合戦略	Ⅲ	2	1	観光の振興	H29年度				H30年度				その他の指標	-											
	-	-	-	-	改善目標	引き続き筑波山山頂施設の改修について茨城県に要望を行う。また、観光施設として必要な維持管理を行う。				改善目標	引き続き筑波山山頂の公衆トイレ及び管理に必要な作業道の修繕について、設置者の県に要望を行う。また、市観光施設についても菱露台等の老朽化等により危険となった施設の再整備を優先的に行う。														
市長公約	-				事業計画	①筑波山山頂施設維持管理 ②市営駐車場維持管理 ③各観光案内施設等維持管理(筑波山観光案内所、おもてなし館、BiViつくば観光案内所) ④梅林維持管理 ⑤宝篋山休憩所・バイオトイレ維持管理 ⑥森林体験パーク運営支援・修繕 ⑦荃崎地区観光施設維持管理 ⑧市営第3・4駐車場管制装置精算機入替				事業計画	①筑波山山頂施設維持管理 ②市営駐車場維持管理 ③各観光案内施設等維持管理(筑波山観光案内所、おもてなし館、BiViつくば観光案内所) ④梅林維持管理 ⑤宝篋山休憩所・バイオトイレ維持管理 ⑥森林体験パーク運営支援・修繕 ⑦荃崎地区観光施設維持管理 ⑧Webカメラ等維持管理 ⑨つくば市公共施設自主点検マニュアルの運用				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初						
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)					活動実績	①筑波山山頂施設維持管理 ・山頂公衆トイレ2ヶ所 ②市営駐車場維持管理 ・市営筑波山駐車場(第1～第4駐車場) ・第3、4駐車場精算機交換 ・山麓駐車場等6ヶ所 ③各観光案内施設維持管理 ・筑波山観光案内所、おもてなし館、休憩所 ・BiViつくば観光案内所等 ④梅林維持管理 ・梅林植栽維持管理等 ⑤観光施設修繕(施設修繕:46件、修繕工事:17件) ・山頂公衆トイレ修繕 ・市営第4駐車場階段修繕 ・梅林内木橋、階段修繕 ・宝篋山バイオトイレ外壁等修繕他				上半期活動実績	-				事業費(A)	109,907千円	116,961千円	99,473千円	0千円					
根拠法令等	-						成果	来訪者の安全確保のため、破損した市営駐車場の通路や梅林階段・木橋・木道の修繕を行った。また、寒波による凍結により破損した山頂及び市営駐車場の公衆トイレの修繕を行ったことにより、利用者の利便性向上が図られた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業分類	F 施設等維持管理事業							課題	今年の寒波による凍結により山頂の公衆トイレが破損したため、防寒対策を含め老朽化した施設の改修について、設置者の茨城県に引き続き要望を行う。また、梅林木道などの市施設のついても老朽化が進んでいるため、引き続き改修が必要である。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
執行体制	一部委託				事業の概要	市内観光施設の維持管理を実施し、快適で魅力ある観光施設を提供する。 ①筑波山頂施設維持管理②市営駐車場維持管理③観光案内施設維持管理④梅林維持管理⑤宝篋山休憩施設維持管理⑥森林体験パーク運営支援、修繕⑦荃崎地域観光施設維持管理				事業の概要	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円						
事業の目的	おもてなしの意識で筑波山観光施設の行き届いた維持管理を行うことで、つくばの観光イメージを損なうことなく、快適かつ公共の安全が確保され、更なる魅力の向上に努めるため。					課題	-				課題	-				その他特財	55,098千円	57,326千円	64,244千円	0千円					
					事業の概要											-				事業の概要	-				一般財源
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-				改善目標の進捗状況	-									
	H30 環境関連性	-				評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-												
					評価		効率性	中:適切な費用対効果が得られている				評価	効率性	-											
						評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価		総合評価	-											
					H31年度当初積算根拠		-					H31年度当初積算根拠	-												
						H31年度の方向性	-				理由		-												

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	117,476千円	130,650千円	112,858千円	0千円
	総人件費	16,865千円	17,598千円	12,177千円	
	総事業コスト	134,341千円	148,248千円	125,035千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	12	観光施設維持管理に要する経費

事務事業名	02	茎崎こもれび六斗の森管理運営事業	指標名	施設利用料収入				指標種別	活動結果指標		指標の概要	施設の充実とサービスの向上、ニーズに応じた自主事業を展開することで、利用料収入の拡大に繋げる。				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
戦略プラン	-	-	-	7,250千円	7,500千円	8,867千円	8,250千円	-	-	-						
	-	-	-	実績	7,858千円	8,943千円	8,110千円	8,458千円	-	-						
総合戦略	-	-	-	H29年度				H30年度				その他の指標	施設利用状況 H28年度実績値(目標値) ・宿泊棟:2,241人(2,450人) ・テント, BBQ:11,543人(11,000人) H29年度実績値(目標値) ・宿泊棟:2,347人(2,500人) ・テント, BBQ:11,942人(11,500人) H30年度目標値 ・宿泊棟:2,500人 ・テント, BBQ:11,500人			
				改善目標	施設の充実及び改修等を行い利用者へのサービス向上を図るほか、利用者の安全性向上を図る。				改善目標	・現在調査中のアウトドアフィールド調査の結果を受け、今後の整備方針を検討する。 ・老朽化したバーベキュー施設等の修繕を行う。						
市長公約	-		事業計画	①簡易な修繕 ②キャビン改修工事 ③駐車場修繕工事 ④散策路修繕工事 ⑤自動火災報知設備設置工事 ⑥指定管理者との調整及び指導 ⑦屋根付きバーベキュー施設設置工事				①簡易な修繕 ②バーベキュー施設改修工事 ③散策路修繕工事 ④かまど修繕工事 ⑤指定管理者との調整及び指導 ⑥指定管理者再募集 ⑦つくば市公共施設自主点検マニュアルの運用				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)			活動実績				上半期活動実績				事業費(A)	7,569千円	11,749千円	13,385千円	0千円
根拠法令等	-		成果	①施設修繕 ・屋外トイレ修繕 ・駐車場, 散策路修繕 ・キャビンドア修繕等 ②施設維持工事 ・自動火災通報装置設置等 ③備品等購入 ④指定管理者との連携 ・指定管理者と連携し施設の維持管理を実施 ⑤年間利用者数 ・キャビン 2,347人 ・キャンプ・バーベキュー場 11,942人				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	F 施設等維持管理事業			課題				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	指定管理者		事業の進捗状況				事業の進捗状況				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	茎崎こもれび六斗の森を適切に維持管理することにより、受け入れ態勢の充実を図り、誘客の促進を図るため。		達成				達成				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	指定管理者と連携を図り、管理運営を行っている。指定管理者とは月1回程度で運営状況等について話し合い、利用者のニーズに応じた柔軟なサービスの提供に努める。また、施設の老朽化が進んでいることから、計画的に修繕を行う。		有効性				有効性				一般財源	7,569千円	11,749千円	13,385千円	0千円	
事業の概要	指定管理者と連携を図り、管理運営を行っている。指定管理者とは月1回程度で運営状況等について話し合い、利用者のニーズに応じた柔軟なサービスの提供に努める。また、施設の老朽化が進んでいることから、計画的に修繕を行う。		中:適切な成果が得られている				中:適切な費用対効果が得られている				人件費(B)	2,331千円	2,335千円	1,675千円		
	整備後約25年以上が経過しており、現在の利用者ニーズに合った施設整備が必要である。		評価				評価				正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.20人	
ISO 14001	H29環境関連性	-	事業の進捗状況				事業の進捗状況				時間外勤務	50.00時間	80.00時間	100.00時間		
	H30環境関連性	-	中:適切な費用対効果が得られている				中:適切な費用対効果が得られている				臨時職員等	無	無	-		
H31年度当初積算根拠		-		総合評価				総合評価				事業コスト(A+B)	9,900千円	14,084千円	15,060千円	
H31年度当初積算根拠		-		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				H31年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	117,476千円	130,650千円	112,858千円	0千円
	総人件費	16,865千円	17,598千円	12,177千円	
	総事業コスト	134,341千円	148,248千円	125,035千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	12	観光施設維持管理に要する経費

事務事業名	03 レンタサイクル事業	指標名	レンタサイクル利用台数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくば駅及び筑波山口での自転車の年度内貸出数					
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
			-	-	-	-	-	-			-				
		実績	3,281台	4,057台	4,346台	5,100台	-								
総合戦略	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-			
			レンタサイクルの適正な点検・修繕を行うことにより利用者の安全性を確保する。また、実施スペース減少が見込まれるため、新たなスペース確保の検討と減少後も適正に貸出できるよう利用実績等を参考に配置方法等の検討を行う。				-								
市長公約	-	事業計画	レンタサイクル ・BiViつくば観光案内所 H29.4.1～H30.3.31 ・筑波山口(関東鉄道(株)つくば北営業所) H29.4.1～11.30				事業計画 平成30年度から観光振興に要する経費へ移管				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	自転車のまちつくば基本計画										事業費(A)	平成28年度観光振興に要する経費	1,455千円	観光振興に要する経費	0千円
根拠法令等	つくば市レンタサイクル事業実施要項										国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円									
		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円									
		その他特財	0千円	2,524千円	0千円	0千円									
		一般財源	0千円	-1,069千円	#VALUE!	0千円									
		人件費(B)	0千円	2,184千円	0千円										
事業の目的	・つくば駅の周辺地域や、筑波山麓周辺地域の観光資源を幅広く活用するための利便性向上を図るため。 ・つくば駅からの2次交通手段として活用するため。	活動実績	BiViつくば観光案内所及び筑波山口において、レンタサイクル貸出・維持管理を実施 ①BiViつくば観光案内所 ・配置数:大人用 26台 子供用 4台 ・貸出数:大人用 4,438台 子供用 127台 ②筑波山口 ・配置数:大人用 16台 子供用 2台 ・貸出数:大人用 501台 子供用 34台				上半期活動実績	-							
			事業の概要	成果	レンタサイクルの点検・修繕等を実施し、安全性を確保した。(自転車向け保険TSマークの実施) TXつくば駅からの2次交通手段としてレンタサイクルが利用され、来訪者の利便性向上を図ることができた。また、筑波山口にスポーツ自転車を平成28年度導入したことにより、前年度と比べ利用者の増となった。				上半期成果	-					
					課題	・筑波山口については、スポーツタイプのレンタサイクル導入等により、昨年と比べ利用者数は増加しているが、さらなる増加への対応として、冬季閉鎖となっている筑波山口での年間を通しての開設等が必要である。				課題	-				
ISO 14001	H29環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-						
		有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-							
		効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-							
		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-							
		評価					H31年度の方向性	-	理由	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	117,476千円	130,650千円	112,858千円	0千円
	総人件費	16,865千円	17,598千円	12,177千円	
	総事業コスト	134,341千円	148,248千円	125,035千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	12	観光施設維持管理に要する経費

事務事業名	04 広域レンタサイクル事業	指標名	広域レンタサイクル利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要	広域レンタサイクル利用者数。	
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
	-	実績	-	155	744	1,643	-				
総合戦略	Ⅲ 2 1 観光の振興	改善目標	H29年度				H30年度				
			茨城県他構成7市で連携し、広域レンタサイクルの実施及び利用促進のため、事業の周知を行う。また、冬季の休止期間については利用者の利便性向上を図るため、廃止または、短縮等について県等関係機関と検討を行う。				改善目標				
市長公約	-	事業計画	広域レンタサイクルの実施				事業計画				
個別計画	水郷筑波広域レンタサイクル乗り捨てシステム検証事業		・つくば市の貸出施設：BiViつくば観光案内所 ・貸出期間：H29.4.22～H30.3.31(12月・1月は休止)				平成30年度から観光振興に要する経費へ移管				
根拠法令等	-	活動実績	予約のあった広域レンタサイクルをBiViつくば観光案内所にて貸出・返却				上半期活動実績				
事業分類	E 補助金・負担金事業		・貸出：75台 ・返却：80台				-				
執行体制	全て委託	成果	茨城県を中心に構成7市において、水郷筑波広域レンタサイクル事業を実施				上半期成果				
事業の目的	日本初の広域レンタサイクル乗り捨てシステムを構築することにより、新たな観光ツールを提供し、観光客や地元住民が地域を周遊する動機づけとする。また、茨城県のサイクリング環境を広くPRするとともに、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。		課題				課題				
事業の概要	つくばりんりんロードから霞ヶ浦自転車道に関連する7自治体と茨城県で水郷筑波広域レンタサイクル乗り捨てシステム検証事業実行委員会を立ち上げ、委託先を決定し、自転車5台を新たに購入し、事業展開していく。	課題				課題					
ISO 14001	H29 環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-		
	H30 環境関連性	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-		-			
		効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-		-			
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		-			
		H31年度当初積算根拠		H31年度当初積算根拠		H31年度当初積算根拠		理由			
		H31年度当初積算根拠		H31年度当初積算根拠		H31年度当初積算根拠		理由			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	37,240千円	37,500千円	36,244千円	0千円
	総人件費	32,209千円	31,742千円	31,997千円	
	総事業コスト	69,449千円	69,242千円	68,241千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

事務事業名	01 まつりつくば事業				指標名	来場者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	まつりつくばへの来場者数				
	戦略プラン	IV	12	1	観光の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
		-	-	-	-	実績	460,000人	470,000人	440,000人	550,000人	-									
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
市長公約	-				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・まつりつくば2017の開催【平成29年8月26日・27日の2日間】 ・補助金要項の制定・補助金の申請：4月～5月 ・補助金の実績報告・確定：1月 ・まつりつくば大会本部会議の開催：前年度1月～1月 ・まつりつくば運営実行委員会の開催：4月～10月 ・まつりつくば外部評価委員会の開催：6月～9月 ・まつりつくば推進本部・推進会議の開催：4月 				<ul style="list-style-type: none"> 【平成30年8月25日・26日の2日間】 ・補助金要項の制定・補助金の申請：4月～5月 ・補助金の実績報告・確定：1月 ・まつりつくば大会本部会議の開催：前年度1月～ ・まつりつくば運営実行委員会の開催：4月～10月 ・まつりつくば外部評価委員会の開催：6月～10月 ・まつりつくば推進本部・推進会議の開催：4月 				事業実施コスト	H28年度決算 H29年度決算 H30年度当初 H31年度当初					
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)					活動実績	<p>昨年度同様に、まつりつくば大会本部体制のもと、平成29年8月26日(土)・27日(日)の2日間、つくば駅周辺会場にてまつりつくば2017を開催し、無事終了することができた。</p> <p>また、ロボットパークをエキスポセンター付近を会場として変更し、例年にも増して盛りだくさんのイベント等を実施した。</p>				事業費(A)	25,522千円 25,751千円 25,500千円 0千円								
根拠法令等	まつりつくば事業補助金交付要項				成果		<p>・今回で37回目の開催を迎えた「まつりつくば」は、過去最高の来場者数であり、2日間にわたり大変盛り上がった。</p>					内訳	国庫支出金	0千円 0千円 0千円 0千円						
事業分類	E 補助金・負担金事業					課題	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者等の安全確保のため、パレード会場付近の安全対策を検討する必要がある。 				県支出金		0千円 0千円 0千円 0千円							
執行体制	補助金(直接)				事業の概要		<p>「歴史・科学・多様な文化の融合により、つくばにしながら「ふるさと」を感じることができる、つくばらしいまつり」をコンセプトとし、まつりつくばを開催する。</p>				地方債	0千円 0千円 0千円 0千円								
事業の目的	つくば市最大の夏祭りとして、市の地域特性を活かし市内外の人々の交流を図るとともに、つくばにしながら「ふるさと」を感じることができるまつりとするを目的に、観光振興及び市のイメージアップを図るため。					事業の進捗状況	<p>達成</p>				その他特財	0千円 0千円 0千円 0千円								
	事業の概要	-					評価	<p>有効性 中：適切な成果が得られている</p> <p>効率性 中：適切な費用対効果が得られている</p> <p>総合評価 B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施</p>				一般財源	25,522千円 25,751千円 25,500千円 0千円							
ISO 14001		H29 環境関連性	-			事業の進捗状況		<p>達成</p>				H31年度当初積算根拠	-							
	H30 環境関連性	-			事業の進捗状況		<p>達成</p>				人件費(B)		23,927千円 22,714千円 23,045千円							
ISO 14001	H29 環境関連性	-				事業の進捗状況	<p>達成</p>				H31年度当初積算根拠	正職員	従事割合	2.00人 2.00人 2.00人						
	H30 環境関連性	-			事業の進捗状況		<p>達成</p>					時間外勤務	3500.00時間 3369.00時間 3500.00時間							
ISO 14001	H29 環境関連性	-				事業の進捗状況	<p>達成</p>				H31年度当初積算根拠	臨時職員等	無 無 無							
	H30 環境関連性	-			事業の進捗状況		<p>達成</p>					事業コスト(A+B)	49,449千円 48,465千円 48,545千円							
ISO 14001	H29 環境関連性	-				事業の進捗状況	<p>達成</p>				H31年度当初積算根拠	H31年度当初積算根拠								
	H30 環境関連性	-			事業の進捗状況		<p>達成</p>					理由 -								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	37,240千円	37,500千円	36,244千円	0千円
	総人件費	32,209千円	31,742千円	31,997千円	
	総事業コスト	69,449千円	69,242千円	68,241千円	

事務事業名	02 つくば物語事業				指標名	来場者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	つくば物語への来場者数			
	IV	12	1	観光の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実績	H29年度			H30年度		
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	9,000人	9,000人	5,000人	5,000人	5,000人	-	-	実績	3,500人	5,000人	4,000人	800人	-	-
総合戦略	-	-	-	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-				
	-	-	-	-		改善目標	・ステージ出演者のスケジュール調整を早期に行い、開催期日等の決定を早めに行う。				改善目標	・山麓秋祭り関係者と協議し、ステージ出演や出展などの機会を増やす。 ・雨天時の来場者数の減少が大きいため、雨天時の対応を見直す。							
市長公約	-				事業計画	・つくば物語2017の開催【平成29年10月下旬】 ・開催期日、事業内容等の決定：4月～6月（ステージ出演者含む） ・事業計画の決定・会場その他施設等の予約：6月～8月 ・各種契約行為・イベント告知：9月～10月 ・準備行為：10月				事業計画	【平成30年10月28日】 ・開催期日、事業内容等の検討：4月～6月 ・事業計画の決定・会場その他施設等の予約：6月～8月 ・各種契約行為・イベント告知：9月～10月 ・準備行為：10月 ・メイン出演者：木村 大 ・山麓秋祭り実行委員会会議への参加				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)					活動実績	平成29年10月28日(土)に平沢官衙遺跡において、「古代遺跡で奏でる音楽の祭典」と題し、つくば物語2017を開催した。本年度は、メインゲストに木村大を迎えとともに、遺跡ガイド、地元の物産販売や飲食ブースコーナーも設置した。				上半期活動実績	-				事業費(A)	6,637千円	6,649千円	5,844千円
根拠法令等	-				成果		・一流のアーティストによるコンサートを呼び水に、筑波山麓の歴史遺産等の観光スポットや地元物産を広く周知することができた。 ・来場者数は、生憎の雨のため800人となった。					上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事业					課題	・山麓秋祭りなどと絡め、地域の方々と共に賑わいが創出できるような催事に転換できるよう検討していく。				課題		-				県支出金	0千円	0千円
執行体制	一部委託				事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	内訳	正職員	従事割合	0.30人	0.30人
事業の目的	平沢官衙遺跡を始めとする観光スポットを認識し、良さを知ってもらい、筑波山や筑波山麓に再来訪してもらうため。					事業の概要	平沢官衙遺跡PRを兼ねて、一流アーティストによるコンサートをメインに地元物産の販売を実施。手法：イベント内容を企画し、市広報・ポスター／チラシなどを作成し広報活動を行う。				H31年度当初積算根拠	-				時間外勤務	110.00時間	211.00時間	200.00時間
ISO 14001	H29環境関連性	-	-	-	評価		有効性	中：適切な成果が得られている		評価		有効性	-		臨時職員等	無	無	無	
	H30環境関連性	-	-	-	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		事業コスト(A+B)	9,127千円	9,315千円	8,482千円			
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		H31年度当初積算根拠		理由		-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	37,240千円	37,500千円	36,244千円	0千円
	総人件費	32,209千円	31,742千円	31,997千円	
	総事業コスト	69,449千円	69,242千円	68,241千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

事務事業名	03 つくばフェスティバル事業				指標名	来場者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	つくばフェスティバルへの来場者数				
	戦略プラン	IV	12	1	観光の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
		-	-	-	-	実績	120,000人	150,000人	140,000人	140,000人	-	-	-							
総合戦略	-	-	-	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
	-	-	-	-		・本イベントのテーマのひとつである、「科学」を強調するため、新しいもの(VRなど)を行う。				改善目標 国際性を重視する方向でテーマを変更し、国際交流協会を通じて国際交流イベントの新たな出展を調整する。										
	-	-	-	-																
市長公約	-				事業計画	・つくばフェスティバル2017の開催【平成29年5月13日・14日の2日間】 ・補助金要項の制定・補助金の申請：4月 ・補助金の実績報告・確定：10月 ・つくばフェスティバル実行委員会の開催：前年度2月～10月				【平成30年5月12日・13日の2日間】 ・補助金要項の制定・補助金の申請：4月 ・補助金の実績報告・確定：10月 ・つくばフェスティバル実行委員会の開催：前年度2月～10月				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)					つくばフェスティバル実行委員会及び本市主催のもと、つくば市国際交流協会も共催し、平成29年5月13日(土)・14日(日)の2日間、つくばセンター広場周辺会場において、つくばフェスティバル2017を開催した。主な内容は、市内小中学校や研究機関による体験型イベントや商工会会員等による物販、国際交流フェア等を実施した。				上半期活動実績				事業費(A)	4,500千円	4,500千円	4,300千円	0千円		
根拠法令等	つくばフェスティバル事業費補助金交付要項				活動実績	つくばフェスティバル実行委員会及び本市主催のもと、つくば市国際交流協会も共催し、平成29年5月13日(土)・14日(日)の2日間、つくばセンター広場周辺会場において、つくばフェスティバル2017を開催した。主な内容は、市内小中学校や研究機関による体験型イベントや商工会会員等による物販、国際交流フェア等を実施した。				上半期活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業分類	E 補助金・負担金事業					成果	・国際交流フェアを通して、「国際都市つくば」を広くPRすることができた。 ・来場者数は、1日目は生憎の雨のため7万5千人となった。				上半期成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	補助金(直接)				課題		・本イベントは、国際交流がテーマのひとつとなっているため、国際交流協会と協力し、さらに国際色豊かにしていく必要がある。				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	つくばフェスティバルは、「ふれあい、そして国際交流」をテーマに、つくばセンター地区において、市内外の方々に世界各国の文化とふれあう機会を提供し、また科学に関連した体験型イベントなどを通じてつくばの魅力や国際都市つくばをアピールし、つくばセンター地区の活性化を図ることを目的に開催する。					事業の概要	「ふれあい、そして国際交流」をテーマにした春のイベント。未来の担い手となる子供達を対象とした科学イベント、国際交流事業を目的とした国際交流フェアを実行委員会形式で企画運営する。				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	人件費(B)	4,140千円	4,725千円	4,690千円			
	H30 環境関連性	-			評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人			
													時間外勤務	180.00時間	464.00時間	450.00時間				
													臨時職員等	無	無	無				
													事業コスト(A+B)	8,640千円	9,225千円	8,990千円				
													H31年度当初積算根拠	-						
													H31年度の方向性	-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
総事業費	37,240千円	37,500千円	36,244千円	0千円
総人件費	32,209千円	31,742千円	31,997千円	
総事業コスト	69,449千円	69,242千円	68,241千円	

事務事業名	04	くさぎさ夢まつり事業	指標名	来場者数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	くさぎさ夢まつりへの来場者数							
戦略プラン	-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
	-		実績	11,000人	11,000人	11,000人	11,000人	-	-	-									
総合戦略	-		改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
	-			改善目標	チラシの区会配布範囲の拡充・市施設等での配布により、荃崎地区以外についても周知を行う。また、協賛金の確保のため、実行委員会において、新たな協賛金の創設について協議を行う。				改善目標	・文化芸術課と協議を行い、つくば市民文化祭との同時開催に向けて調整を進める。 ・会場となる荃崎交流センターの駐車スペースが少ないため、近隣の小中学校等を駐車場として確保する。									
	-																		
市長公約	-		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 第5回くさぎさ夢まつりの開催【平成29年11月23日】 補助金要項の制定・補助金の申請：9月 補助金の実績報告・確定：12月 くさぎさ夢まつり実行委員会の開催：4月～12月 				<ul style="list-style-type: none"> 第6回くさぎさ夢まつりの開催【平成30年11月上旬】 補助金要項の制定・補助金の申請：9月 補助金の実績報告・確定：12月 くさぎさ夢まつり実行委員会の開催：4月～12月 実行委員会事務局との連絡・調整 				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)											事業費(A)	581千円	600千円	600千円	0千円	0千円		
根拠法令等	くさぎさ夢まつり事業費補助金交付要項											国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
	事業分類	E 補助金・負担金事業		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円											
		執行体制	補助金(直接)		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円										
			事業の目的	地域に密着したまつりとして、様々な世代に楽しんでもらえるようなイベントを開催し、地域活性化及び交流の促進を図るため。		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円									
		事業の概要		地域のふれあいの場として昭和49年から商工業祭、平成12年度からひまわりまつりとして名称は変わってきたが、地域のお祭りとして定着している。現在は、地域活性化を促進するため、荃崎地区の区長会やPTAの関係団体等で実行委員会を組織し、より地域に根ざした市民参加型のイベントとして実施している。		一般財源	581千円	600千円	600千円	0千円									
	課題		くさぎさ夢まつり実行委員会のもと、平成29年11月23日(土)、荃崎運動公園において、荃崎地区の各種団体及び商工会会員等による物販、ステージイベント等を実施した。		人件費(B)	1,652千円	1,637千円	1,624千円											
・荃崎地区区会連合会をはじめ、当該地区の多くの団体が準備段階から係ったことにより、改めて当該地区の地域間・世代間の交流を促進することができた。 ・来場者数は生憎の雨のため2,000人となった。		正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人													
・平成30年・31年度は「いきいき茨城ゆめ国体」開催に伴い、くさぎさ運動公園が会場として使用できないため、新たな会場での運営体制・環境を整備する必要がある。			時間外勤務	70.00時間	85.00時間	80.00時間													
ISO 14001	H29 環境関連性	-		臨時職員等	無	無	無												
	H30 環境関連性	-		事業コスト(A+B)	2,233千円	2,237千円	2,224千円												
評価	有効性	中：適切な成果が得られている		H31年度当初積算根拠	-														
		効率性	中：適切な費用対効果が得られている		H31年度当初積算根拠	-													
			総合評価			B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		理由	-										
H31年度当初積算根拠	-			理由		-													

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	68,256千円	62,264千円	79,360千円	0千円
	総人件費	19,088千円	20,171千円	18,368千円	
	総事業コスト	87,344千円	82,435千円	97,728千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名	01	つくば観光コンベンション協会補助事業			指標名	観光入込客数				指標種別	成果指標				指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、観光入込客をカウントした値(年集計) ※目標値は、第2次つくば市観光基本計画「目標指標」				
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
		-	-	-	-	-	実績	400万人	400万人	339万人	376万人	382万人	388万人	394万人						
総合戦略	III	2	1	観光の振興			改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-			
	-	-	-	-	-	-		自己財源の確保など、財政基盤の強化を引き続き図るよう指導していく。				改善目標 ・財政基盤の強化を引き続き図るよう、観光コンベンション協会に対し指導していく。 ・市職員を観光コンベンション協会に派遣し連携強化を図る。								
	-	-	-	-	-	-		実績				-								
市長公約	-				事業計画	H29年度				H30年度				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)					協会運営が適正に行われるように指導助言を行うとともに、協会との連携を強化し、観光キャンペーンや、観光イベントを実施し、更なる観光誘客を行う。				事業計画				事業費(A)	41,275千円	41,275千円	41,275千円	0千円		
根拠法令等	一般社団法人つくば観光コンベンション協会事業補助金交付要項					協会運営が適正に行われるように指導助言を行うとともに、協会との連携を強化し、観光キャンペーンや、観光イベントを実施し、更なる観光誘客を行う。				事業計画				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績	つくば観光コンベンション協会に対し、スムーズかつ適切な補助金の執行を行った。併せて適正な予算執行及び各種事業等がスムーズに行うことができるよう指導・助言を行った。				上半期活動実績	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	補助金(直接)					つくば観光コンベンション協会の各種事業が適正かつスムーズに行われた。					上半期成果	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	・観光コンベンション協会の財源充実、体制強化を図り、行政を超えた領域の観光事業の充実を図るため。					課題						課題	-				その他特財	0千円	0千円	0千円
事業の概要	・補助団体であることから事業に対する指導、助言を行い適正な運営を図る。 ・誘客のための観光キャンペーンやイベント実施の際に連携を図る。				事業の進捗状況				達成	達成			改善目標の進捗状況	達成	達成	事業コスト(A+B)	44,286千円	43,434千円	42,735千円	
ISO 14001	H29環境関連性	-	-	-	-	有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-			人件費(B)	3,011千円	2,159千円	1,460千円			
	H30環境関連性	-	-	-	-	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-			正職員	従事割合	0.40人	0.30人	0.20人		
						総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			時間外勤務	30.00時間	10.00時間	15.00時間			
														臨時職員等	有	有	有			
														事業実施コスト						
														H31年度当初積算根拠						
														H31年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	68,256千円	62,264千円	79,360千円	0千円
	総人件費	19,088千円	20,171千円	18,368千円	
	総事業コスト	87,344千円	82,435千円	97,728千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名	02 観光振興事業				指標名	観光入込客数				指標種別	成果指標	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、観光入込客をカウントした値(年集計) ※目標値は、第2次つくば市観光基本計画「目標指標」													
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度											
		-	-	-	-	実績	400万人	400万人	339万人	376万人	382万人			388万人	394万人											
総合戦略	-	-	-	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-											
	-	-	-	-		改善目標	-				インバウンド対応の観光アプリ作成により、インバウンド対応を強化する。															
	-	-	-	-			-				-															
市長公約	8182				事業計画	観光アプリ開発のための調査研究を行い、更なる観光誘客が図れるよう、つくばの観光PRを行う。				事業計画	・多言語化に対応した観光アプリの配信及び体験型観光の推進 ・インバウンド研修会などへの参加				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初							
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)														活動実績	アウトドア拠点化整備のための調査業務や体験型観光の推進、観光アプリ配信のための調査などを行った。				上半期活動実績	-	事業費(A)	5,706千円	5,028千円	7,654千円	0千円
根拠法令等	-																					成果	観光資源調査を実施したほか、体験型観光事業者の掘り起こしが行えた。			
事業分類	A 任意的事业				課題	インバウンドに対応した観光振興が必要である。				課題	-	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円										
執行体制	一部委託											事業の概要	各種観光PR事業を実施し、本市の観光産業の振興を促進するとともに、地域経済の活性化を図る。				-	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	市内の観光情報を発信するとともに、つくば市の魅力を紹介することにより、市外からの多くの方に来訪いただき、ひいてはリピーターの増加を目指すため。				事業の進捗状況	-				改善目標の進捗状況	-								その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
															事業の概要	各種観光PR事業を実施し、本市の観光産業の振興を促進するとともに、地域経済の活性化を図る。				事業の進捗状況	-				改善目標の進捗状況	-
ISO 14001	H29 環境関連性	-				評価	有効性 中:適切な成果が得られている				評価	有効性 -														
	H30 環境関連性	-														評価	効率性 中:適切な費用対効果が得られている				評価	効率性 -				H31年度の方向性
総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				評価	総合評価 -				評価	総合評価 -														

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	68,256千円	62,264千円	79,360千円	0千円
	総人件費	19,088千円	20,171千円	18,368千円	
	総事業コスト	87,344千円	82,435千円	97,728千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名	03 つくば市学術会議支援事業				指標名	国際会議開催数				指標種別	成果指標	指標の概要	市内で開催された国際会議の回数(年集計) ※目標値は、平成27年度「まち・ひと・しごと創生事業」評価指数			
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度	
	-	-	-	-	実績	90回	37回	40回	44回	47回	50回	-				
	-	-	-	-		66回	44回	63回	56回	-						
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度						
	-					国際会議の補助対象人数について、見直しを行う。また、さらに学術会議の誘致を図るため、今後は補助金だけでなく、PR等の支援に関しても検討していく。				改善目標 学術会議に限らない会議の誘致のため、平成31年4月の施行を目指して補助金交付要項の改正を行う。						
市長公約	-				事業計画	-				-						
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)					国際会議開催にあたり、申請期間が前年度となるため、会議開催計画に合わせて適格かつスムーズな予算の確保、執行を行っていく。				事業計画 会議開催にあたり、申請期間が前年度となるため、会議開催計画に合わせて適格かつスムーズな予算の確保、執行を行っていく。						
根拠法令等	つくば市学術会議支援補助金交付要項				活動実績	-				-						
事業分類	E 補助金・負担金事業					つくば観光コンベンション協会を通じての補助金交付について、スムーズかつ適切な補助金執行を行った。【補助額】12,344千円				上半期活動実績 -						
執行体制	補助金(直接)				成果	-				-						
事業の目的	つくば市内における学術会議の開催促進を図るため。					補助金を交付することで、学術会議の誘致が行えた。				上半期成果 -						
事業の概要	学術会議主催者に対する支援策の一環として補助金交付及び開催準備金の貸付を実施し、それに伴う窓口業務及び広報活動をつくば観光コンベンション協会へ事務委託する。				課題	-				-						
	-					学術会議に限らない会議誘致の検討が必要				課題 -						
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠			
	H30 環境関連性	-			有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-						
		-			効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-						
		-			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-						
		-			評価	-			評価	-						
		-											H31年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	68,256千円	62,264千円	79,360千円	0千円
	総人件費	19,088千円	20,171千円	18,368千円	
	総事業コスト	87,344千円	82,435千円	97,728千円	

事務事業名		04	筑波山交通渋滞対策事業			指標名	渋滞対策実施日数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	春と秋に実施した渋滞対策の対応日数							
戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度										
	-				実績	17日	16日	18日	16日	-												
総合戦略	Ⅲ	2	1	観光の振興			H29年度				H30年度				その他の指標	-						
	-				改善目標	観光関係事業者や茨城県(土木事務所)との連携を更に強化し、渋滞の削減に努める。 また、市ホームページや観光コンベンション協会ホームページにスマートホンを利用した渋滞情報を発信する。				改善目標	観光関係事業者との連携を更に強化し、渋滞の削減に努める。											
	-																					
市長公約	-					事業計画	ゴールデンウィーク及び秋の行楽シーズンに、関係事業者と連携し、渋滞対策会議を開催する。 表筑波スカイラインや朝日トンネルへ積極的に車両を誘導するほか、市営筑波山駐車場へのスムーズな入庫のための対策も行う。 茨城県と連携してパークアンドバスライドを実施する。				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞対策会議の実施 ・車両の迂回誘導、P&BRの実施等の渋滞対策。 ・市営筑波山駐車場の入庫対策。 ・交通規制を念頭にした、対策の検討 ・ウェブカメラを利用した渋滞状況の配信 				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)						活動実績	関係各機関と連携し、P&BRを含む渋滞対策を実施した。				上半期活動実績	-				事業費(A)	1,425千円	2,585千円	4,645千円	0千円	
根拠法令等	-							成果	渋滞時間が短縮された。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事業					課題			渋滞が完全に解消されたわけではないため、更なる対策が必要である。					課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円
執行体制	一部委託						事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況			-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	春と秋の行楽シーズンを中心に、多くの観光客が筑波山を訪れることから、市営駐車場などのキャパシティを超えて渋滞等が発生する状況となっており、これを緩和するため。							事業の概要	ゴールデンウィーク及び秋の行楽シーズンの土日祝日に関係機関と連携して事業を実施 ・渋滞情報や駐車場の情報を発信、混雑箇所への警備員の配置、看板設置によるパープルライン方面への迂回誘導				課題		-				その他特財	0千円	0千円	0千円
ISO 14001	H29 環境関連性	-				評価			有効性	中:適切な成果が得られている				評価	有効性	-			一般財源	1,425千円	2,585千円	4,645千円
	H30 環境関連性	-					効率性		中:適切な費用対効果が得られている			効率性			-			人件費(B)	2,198千円	5,480千円	2,764千円	
					総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-				正職員	従事割合	0.30人	0.70人	0.30人			
H31年度当初積算根拠		-													H31年度当初積算根拠							
H31年度の方向性		-													理由							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	68,256千円	62,264千円	79,360千円	0千円
	総人件費	19,088千円	20,171千円	18,368千円	
	総事業コスト	87,344千円	82,435千円	97,728千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名	05	おもてなし観光推進事業			指標名	筑波山観光入込客数				指標種別	成果指標	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、筑波山観光入込客をカウントした値(年集計)					
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
	-	-	-	-	実績	209万人	196万人	221万人	225万人	-								
総合戦略	Ⅲ	2	1	観光の振興	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-			
	-	-	-	-		観光ボランティアのさらなる独自組織化を目指す。また、新規ボランティアガイドの育成を行う。	観光ボランティアのさらなる独自組織化を目指す。また、新規ボランティアガイドの育成を行う。				訪日外国人旅行者へのおもてなしを図るため、ボランティアガイド等向けの研修会等を行っていく。							
市長公約	-				事業計画	つくば市からの補助金だけではなく、茨城県等の補助金を活用するとともに、先進地事例等の調査を行い、団体としてのさらなる独り立ちを目指しサポートを継続していく。研修会等開催予定回数 講座：6回 研修会等：12回				事業計画 ・観光ボランティアガイドの外国人へのガイド力等を含めた技術の向上や観光事業者の意識の醸成を図る。 ・総合インフォメーションセンターBivi観光案内所において、つくば市を訪れた観光客に対し、案内業務を行う。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)					活動実績				観光ボランティアガイドのレベルアップ及び観光事業者向けおもてなし講座の開催				事業費(A)	1,300千円	346千円	9,454千円	0千円
根拠法令等	-				成果	ボランティアの技術や意識向上が見られた。 ・観光事業者の意識改革が見られた。				上半期活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事业					課題				訪日外国人旅行者へのおもてなしの向上				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	全て委託				事業の概要	おもてなし観光の強化を図るため、観光コンベンション協会へ委託し、観光ボランティアガイドの育成を行い、行楽シーズンに筑波山周辺でガイドを行う。				上半期成果				その他特財	0千円	0千円	713千円	0千円
事業の目的	観光客に対してきめ細やかで質の高い「おもてなし」を提供し、筑波山を訪れた方の満足度の向上を図るため。					課題				-				一般財源	1,300千円	346千円	8,741千円	0千円
ISO 14001	H29 環境関連性	-			評価	事業の進捗状況				事業の進捗状況				人件費(B)	2,225千円	1,473千円	1,486千円	
	H30 環境関連性	-				有効性				有効性				正職員	従事割合	0.30人	0.20人	0.20人
		-			効率性				効率性				時間外勤務	10.00時間	20.00時間	25.00時間		
		-			総合評価				総合評価				臨時職員等	有	有	有		
		-			B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				-				事業コスト(A+B)	3,525千円	1,819千円	10,940千円		
		-			理由				理由				H31年度当初積算根拠	-				
		-			理由				理由				H31年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	68,256千円	62,264千円	79,360千円	0千円
	総人件費	19,088千円	20,171千円	18,368千円	
	総事業コスト	87,344千円	82,435千円	97,728千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名	07 フットパス事業				指標名	観光入込客数				指標種別	成果指標				指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウントした値(年集計) ※目標値は、第2次つくば市観光基本計画「目標指標」				
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
	-	-	-	-	実績	342万人	332万人	370万人	384万人	-										
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
市長公約	-				事業計画	-				-				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)					<ul style="list-style-type: none"> 小田地区において、道標を設置する。 他部署と連携したイベントなどフットパスの効果的な活用方法の検討を行い、事業実施していく。 				<ul style="list-style-type: none"> 市営神郡駐車場閉鎖に伴う新たな施設の発掘とコース変更 平沢官衙遺跡、小田城跡歴史ひろばや宝篋山小田休憩所等、筑波山麓施設への積極的なマップ設置により、フットパスコースのPRを行う。 					事業費(A)	1,152千円	421千円	419千円	0千円	
根拠法令等	-				活動実績	-				-				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	A 任意的事业					-				-					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	一部委託				成果	-				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	市内に点在する観光資源を線としてつなげるため、フットパスコースを設定するとともに、道標を整備し、年間を通して魅力的な観光空間を提供し、恒常的な観光誘客を図るため。					<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に設定した小田城跡コースに道標を設置した。 荃崎フットパスコースを活用しウォーキングイベントを実施した。 				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	フットパスコースの企画・設定、道標を設置するとともに案内マップを作成し、市内外に広く周知する。				課題	-				-				一般財源	1,152千円	421千円	419千円	0千円		
	-					<ul style="list-style-type: none"> 小田城跡コースの運用が開始できた。 フットパスコースのPRが出来た。 				-				人件費(B)	2,331千円	2,224千円	2,222千円			
	-				事業の進捗状況	-				-				H31年度当初積算根拠	正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人	
	-					市営神郡駐車場の閉鎖に伴う(神郡・六所・筑波)コースの再考が必要である。				-					時間外勤務	50.00時間	36.00時間	35.00時間		
ISO 14001	H29 環境関連性	-			達成	-			達成	-			臨時職員等	有	有	有	事業コスト(A+B)	3,483千円	2,645千円	2,641千円
	H30 環境関連性	-			改善目標の進捗状況	-			改善目標の進捗状況	-			事業実施コスト	-						
		有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			H31年度の方向性	-	理由	-						
		効率性	中:適切な費用対効果が得られている			評価	効率性	-												
		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価	総合評価	-												

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	68,256千円	62,264千円	79,360千円	0千円
	総人件費	19,088千円	20,171千円	18,368千円	
	総事業コスト	87,344千円	82,435千円	97,728千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名	09 (H28)第2期つくば市観光基本計画策定事業	指標名	観光入込客数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	目標値は、第2次つくば市観光基本計画「目標指標」			
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
戦略プラン	-	-	-	-	-	376万人	382万人	388万人	394万人	その他の指標	-			
	-	-	-	-	-	384万人	-							
総合戦略	-	H29年度				H30年度				-	-			
	-	改善目標	-			改善目標	事業終了							
	-													
市長公約	-	事業計画	-第2次つくば市観光基本計画(最終案)を5月庁議に付議し、策定を行う。				事業計画	事業終了						
個別計画	つくば市観光基本計画(平成24年6月4日策定)													
根拠法令等	-	活動実績	第2次つくば市観光基本計画を策定した				上半期活動実績	-						
事業分類	A 任意的事业													
執行体制	一部委託	成果	第2次つくば市観光基本計画が策定できた				上半期成果	-						
事業の目的	つくば市における観光の可能性を認識し、つくば市の持つ観光資源や特性を最大限に活用し、観光振興を図るとともに、観光施策を総合的かつ体系的に構築する。													
事業の概要	「つくば市観光基本計画策定委員会」及び「庁内ワーキングチーム」を形成し、つくば市観光のあり方、今後の方針・施策について検討し、その方針に沿って計画を策定していく。	課題	なし				課題	-						
ISO 14001	H29環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-			
ISO 14001	H30環境関連性	評価	有効性	【終了】高:成果が向上(高水準を維持)している			評価	有効性	-					
			効率性	【終了】高:費用対効果が向上(高水準を維持)している				効率性	-					
			総合評価	—:事業の終了				総合評価	-					
		事業実施コスト		H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	H31年度当初積算根拠			H31年度の方向性	-	理由	-
		事業費(A)		3,857千円	265千円	0千円	0千円							
		国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円							
		県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円							
		地方債		0千円	0千円	0千円	0千円							
		その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円							
		一般財源		3,857千円	265千円	0千円	0千円							
		人件費(B)		5,394千円	1,448千円	0千円	0千円							
		内訳	正職員	従事割合	0.70人	0.20人	0.00人							
			時間外勤務	100.00時間	10.00時間	0.00時間	0.00時間							
		臨時職員等		有	有	無								
		事業コスト(A+B)		9,251千円	1,713千円	0千円	0千円							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	68,256千円	62,264千円	79,360千円	0千円
	総人件費	19,088千円	20,171千円	18,368千円	
	総事業コスト	87,344千円	82,435千円	97,728千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

事務事業名	08 広域レンタサイクル事業 ※観光施設維持管理に要する経費から移行				指標名	広域レンタサイクル利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要	広域レンタサイクル利用者数		
	戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度	
実績	-	-	-	-	-	155	744	-	-	-	-	-			
総合戦略	III	2	1	観光の振興	H29年度				H30年度				その他の指標	-	
	-	-	-	-	改善目標	-				改善目標	7月設立予定の「(仮称)つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会」を中心に事業を実施する中で、広域レンタサイクルのPRを行い、利用者の増加を図る。				
市長公約	-				事業計画	-				事業計画	構成8市町により広域レンタサイクル事業を実施する。 ・貸出施設：BiViつくば観光案内所 ・貸出期間：H30.4.1～H31.3.31				
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)					-					-				
根拠法令等	-				活動実績	平成30年度より観光施設維持管理に要する経費から移行				上半期活動実績	-				
事業分類	E 補助金・負担金事業					成果	-				上半期成果	-			
執行体制	全て委託				課題		-					課題	-		
事業の目的	日本初の広域レンタサイクル乗り捨てシステムを構築することにより、新たな観光ツールを提供し、観光客や地元住民が地域を周遊する動機づけとする。また、茨城県のサイクリング環境を広くPRするとともに、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。					事業の概要	つくばりんりんロードから霞ヶ浦自転車道に関連する7自治体と茨城県で水郷筑波広域レンタサイクル乗り捨てシステム検証事業実行委員会を立ち上げ、委託先を決定し、自転車5台を新たに購入し、事業展開していく。				H31年度当初積算根拠		-		
ISO 14001	H29環境関連性	-		-			-		-			-		-	
	H30環境関連性	-		-		-		-		-		-			
	事業の進捗状況	-		改善目標の進捗状況		-		事業の進捗状況		-		改善目標の進捗状況		-	
	有効性	-		-		-		有効性		-		-		-	
	効率性	-		-		-		効率性		-		-		-	
	総合評価	-		-		-		総合評価		-		-		-	
	H31年度の方向性	-		理由		-		-		-		-		-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	17,306千円	13,455千円	14,559千円	0千円
	総人件費	5,164千円	7,791千円	4,312千円	
	総事業コスト	22,470千円	21,246千円	18,871千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	15	観光宣伝に要する経費

事務事業名	01 観光宣伝事業				指標名	観光入込客数				指標種別	成果指標				指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、観光入込客をカウントした値(年集計) ※目標値は、第2次つくば市観光基本計画「目標指標」						
	戦略プラン	IV	12	1	観光の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
		-	-	-	-	実績	400万人	400万人	339万人	376万人	382万人	388万人	394万人									
					実績	342万人	332万人	370万人	384万人	-												
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-							
	-					改善目標	<ul style="list-style-type: none"> インバウンド強化。 圏央道開通に伴う新規キャンペーン開催地やPRチャンネルの開拓。 				<ul style="list-style-type: none"> 関東ブロック物産観光連絡協議会(在京レジャー記者会)や筑波ブロック広域観光連絡協議会等を活用した情報発信の推進 											
	-																					
市長公約	-				事業計画									事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初				
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)					<ul style="list-style-type: none"> インバウンド強化として、ことりっぷ外国語版等を活用し、インバウンド商談会等へ積極的に参加する。 圏央道開通に伴い、埼玉・群馬方面からの誘客を目指し、キャンペーン開催地の新規開拓やPRチャンネルを開拓する。 				<ul style="list-style-type: none"> インバウンド商談会や茨城県インバウンド部会への参加し、訪日外国人観光客の誘客を図る。 キャンペーン等、観光PRを実施する。 					事業費(A)	6,306千円	2,455千円	3,559千円	0千円			
根拠法令等	-														国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類	A 任意的事业				活動実績	<ul style="list-style-type: none"> インバウンド商談会へ参加し、海外旅行代理店と商談し誘客を図った。 新たに圏央道菖蒲PAIにおいてキャンペーンを実施した。 								県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
執行体制	職員のみ													地方債	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の目的	観光情報の提供、観光キャンペーンの実施、観光ガイドブックの作成、ウォーキングイベントの実施等、市内の観光資源の魅力をPRする事業を実施することで、観光誘客を図るため。													その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の概要	観光ガイドブックの作成及び効果的な配布、つくば観光大使を活用した観光キャンペーンの実施、筑波山麓を起点としたウォーキングイベントの実施等。また、常磐道SAへのパンフレット掲出や、リビング紙への掲載、メディアへの情報提供など、効果的な情報発信を積極的に行う。				成果	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人観光客の誘客を図った。 新たに埼玉・群馬方面からの誘客が図れた。 								一般財源	6,306千円	2,455千円	3,559千円	0千円				
														人件費(B)	3,507千円	6,242千円	3,474千円					
														正職員	従事割合	0.40人	0.80人	0.40人				
				課題	効果的な情報の発信								時間外勤務	217.00時間	220.00時間	250.00時間						
													臨時職員等	無	無	無						
													事業コスト(A+B)	9,813千円	8,697千円	7,033千円						
												H31年度当初積算根拠				-						
ISO 14001	H29 環境関連性	-				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度の方向性				-	理由	-		
	H30 環境関連性	-				有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-										
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-											
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-												

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	17,306千円	13,455千円	14,559千円	0千円
	総人件費	5,164千円	7,791千円	4,312千円	
	総事業コスト	22,470千円	21,246千円	18,871千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	15	観光宣伝に要する経費

事務事業名	02	サイエンスツアー事業			指標名	サイエンスツアー利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくばサイエンスツアーオフィスを通じてサイエンスツアーに受入した人数					
戦略プラン	IV	12	1	観光の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
					実績	20,366人	20,188人	16,135人	16,209人	-								
総合戦略	III	2	1	観光の振興	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-			
市長公約	-				事業計画	H29年度				H30年度				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)					つくばサイエンスツアーバスを土日祝日に運行する。利用者増加のための特別イベントを実施する。 ＜外国人誘客＞ ・英語版ホームページの作成 ・筑波大留学生等を活用した外国語ガイドの養成				・インバウンド受け入れのための体制強化とインバウンド誘致に向けたPR強化 ・筑波山登山やフォレストアドベンチャーつくば等、筑波山等に点在する体験型観光との連携を強化する。				事業費(A)	11,000千円	11,000千円	11,000千円	0千円
根拠法令等	つくばサイエンスツアー推進事業に係る協定書				活動実績	＜誘客件数＞ ・学校団体169校, 12,717名 ・一般団体109団体3,492名 ・つくばサイエンスツアーバス利用者4,601名, 同バスを利用したイベント17回 ・サイエンスツアーオフィスに英語対応可能なスタッフの配置 ・英語でのサイエンスツアーバス特別イベントの実施				・＜誘客件数＞ ・学校団体200校, 15,000名 ・一般団体140団体, 5,000名 ・つくばサイエンスツアーバス利用者4,800名 ・外国人誘客＞ ・外国語対応可能な職員の配置 ・英語版ホームページ及びSNS等による情報発信 ・外国語広報資料の作成・配布 ・外国語でのスタッフガイド、つくばサイエンスツアーバス特別イベント等の実施				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	E 補助金・負担金事業					成果	世界有数の最先端科学技術が集積する「科学の街つくば」の知名度及び魅力向上につながった。また、外国語版パンフレットの配布及び英語対応可能スタッフの配置により、外国人旅行客誘客につながった。				上半期活動実績				県支出金	0千円	0千円	0千円
執行体制	補助金(直接)				課題		・インバウンド誘致に向けたPR強化 ・筑波山やセグウェイツアー等市内に点在する観光資源との連携強化				上半期成果				地方債	0千円	0千円	0千円
事業の目的	研究機関の集積する筑波研究学園都市の特性を活かし、市外から観光客を誘客するため。					評価	事業の進捗状況				事業の進捗状況				その他特財	0千円	0千円	0千円
事業の概要	つくばサイエンスツアー実行委員会(事務局:茨城県)から(財)茨城県科学技術振興財団つくばサイエンスツアーオフィスへ事業委託し、学校団体を中心に、一般団体や個人をつくばの研究機関等へ誘客する。				有効性 中:適切な成果が得られている				有効性 -				一般財源	11,000千円	11,000千円	11,000千円	0千円	
ISO 14001	H29環境関連性	-			改善目標の進捗状況				改善目標の進捗状況				人件費(B)	1,657千円	1,549千円	838千円		
	H30環境関連性	-			達成				達成				正職員	従事割合 0.20人	0.20人	0.10人		
		-			効率性 中:適切な費用対効果が得られている				効率性 -				時間外勤務	72.00時間	50.00時間	50.00時間		
		-			総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価 -				臨時職員等	無	無	無		
		-											事業コスト(A+B)	12,657千円	12,549千円	11,838千円		
		-											H31年度当初積算根拠	-				
		-											H31年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	84千円	296千円	349千円	0千円
	総人件費	1,657千円	2,260千円	762千円	
	総事業コスト	1,741千円	2,556千円	1,111千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	16	観光客動態調査に要する経費

事務事業名	01	観光客動態調査事業	指標名	観光客(筑波山観光客)入込数調査日数				指標種別	活動結果指標	指標の概要	筑波山での交通量調査とアンケート調査日数						
戦略プラン	-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度						
	-		実績	24日	12日	8日	16日	-									
総合戦略	-		改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-				
	-			天候に左右されないように調査日数を増やし、より正確なデータを取る。				-									
	-																
市長公約	-		事業計画	筑波山において5月・8月・11月・2月の観光入込客数調査(交通量調査)およびパラメーター調査(聞き取り調査)を実施。また、観光施設への入込客数及びイベントの入込客数の把握。				茨城県からの委託を受け、観光入込客数の調査を実施する。実施内容については、筑波山及び宝篋山において5・8・11・2月の観光入込客数調査(交通量調査)等。観光施設への入込客数及びイベント等の入込客数の把握。茨城県への調査報告。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
個別計画	第2次つくば市観光基本計画(平成29年4月策定)											事業費(A)	84千円	296千円	349千円	0千円	
根拠法令等	-											国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	D 内部管理事業		活動実績	筑波山において5月・8月・11月・2月の各月4日に観光入込客数調査(交通量調査)及びパラメータ調査(アンケート調査)を実施 ・県委託調査分=4回 ・市独自調査分=4回				上半期活動実績				県支出金	84千円	110千円	111千円	0千円	
執行体制	一部委託											地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	つくば市を訪れる観光客の動態を把握することにより、観光施策の適正な実施及び推進に必要な基礎資料を得るため。また、当該事業は茨城県からの委託事業であり、事業を実施、報告するため。											その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	つくば市内の代表的な見学可能な研究施設等及び、筑波山への入込数を調査し、県に報告する。筑波山は交通量調査から入込数を測定し、その他については各施設より報告を受け、県に報告している。なお、通年調査の他、集客数の大きいイベントについても、来場者数を報告している。		成果	筑波山の調査に加え、観光施設及びイベントの入込客数を把握できた。				上半期成果				一般財源	0千円	186千円	238千円	0千円	
												人件費(B)	1,657千円	2,260千円	762千円		
												正職員	従事割合	0.20人	0.30人	0.10人	
ISO 14001	H29 環境関連性	-	課題									時間外勤務	72.00時間	50.00時間	20.00時間		
	H30 環境関連性	-										臨時職員等	無	無	無		
		-										事業コスト(A+B)	1,741千円	2,556千円	1,111千円		
			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠						
評価	有効性		中:適切な成果が得られている				有効性		-	H31年度の方向性							
	効率性		中:適切な費用対効果が得られている				効率性		-	理由							
	総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価		-	-							